

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

ここいる

公表日 令和8年3月20日

回収率 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	22	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を知らせて頂きながら、気負わず取り入れやすい支援の環境や方法を教えて頂ける。 ・気付かない部分を知ることができてよい。あまりゆっくりと話す時間が無い。 ・来る方によって、アドバイスを下さる方と前より成長したと言うだけの方がいるので助言はあまり教えてもらっていない。アドバイスと言うより、その子の様子を教えてくださいたださるだけである。 ・保育士の悩みに対し、助言してくれる。 ・とても丁寧に教えてくれる。 ・これからの支援の見通しを持つことができた。 ・具体的に教えてくださるので分かりやすい。 	ご意見ありがとうございます。今後も訪問先の状況に合わせ、支援を行いたいと思います。来年度よりOJTによる訪問支援員の教育を実施してまいります。支援員による支援の質のばらつきがなくなるように努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	23	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な分野からの支援員の方が来てくださるので勉強になる。 ・参考になる事が多い。 ・作業、言語、保育士の立場から、わかりやすくアドバイスしてくれる。 ・生徒本人の特性にあったアプローチを知ることができた。 	ここいるの訪問支援では複数の専門職が多角的な支援で見守ることが出来ます。今後も、この強みが機能するよう、OJTによる訪問支援員の教育を充実させるなど、支援員の専門性が発揮され、評価、観察、支援が行われるよう努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	22	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、アドバイスは実践に繋げやすかった。 ・園での支援を認めてくださりながら、ステップアップのための支援を回答して下さる。 ・参考になる意見があり助かる。 ・どんな質問に対しても、回答してくれると聞いている。 ・学校側がなかなかお話しする機会がなく、申し訳ない。 ・とても親身になってくれて助かった。 ・なぜその行動をとるのかなども、丁寧に教えてくれるので分かりやすい。 	訪問先の方が相談しやすい雰囲気づくり、連携を意識し、それぞれの訪問先に合った支援ができるよう努めてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	17	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・取り入れやすく実践しやすい方法で子どもの発達の促しができる。 ・軽減されていると思うが、日々の実践で活用できているのか不安がある。 ・すぐに解消できるお子様ではないので、どちらともいえない。 ・本人にどのような声かけをどのタイミングで行えばよいかなど悩んでいたことが解消された。 	ご意見ありがとうございます。お子様の課題や困難がすぐには変化しない場合もあると思います。その場合でも、課題の解決に向っていると感じていただけるような支援方法の提案ができるよう、訪問支援員の教育に力を入れていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	21	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足だ。 ・支援して下さることがわかると、自分の心に余裕ができるので助かる。 ・保育士の支援を褒めたり、子どもの成長と一緒に喜んでくれるのが嬉しいと聞いている。 ・これからも続けていきたい。 ・充実した時間となった。 	ありがとうございます。これからも訪問先の方々や情報を共有し、丁寧な支援を提供できるよう心掛けてまいります。
<p>その他のご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どちらともいえない」に答えた理由として、話したり情報共有したりする場がないため、はっきりと答えられない。 ・事業所での活動に活かすために様子を見に来ているのだと思っていました。 ・同じ時間にしか来校されないのが、他の時間の授業も見えて頂けると良いのかもしれない。 ・私自身(担任として)、とても困っているわけではないので、正直なところ、満足でも不満でもない。 ・1年間ありがとうございました。 					<p>ご意見を踏まえた対応</p> <p>ご意見ありがとうございます。同じ時間で比較評価することの意味、異なる時間を評価する必要性、複数の専門職が訪問する必要性、など、毎回の訪問支援の意義を訪問支援員自身が理解し、お伝えできるよう、来年度はOJTによる訪問支援員の教育を実施し、質向上に努めてまいります。保育所等訪問支援は保護者の権利として提供されるサービスとなっております。その意義や目的などを訪問先と共有し、対象児の園・学校生活に活かせるよう心掛けていきたいと思っております。その際、訪問先の生活の流れ、保育・教育活動の妨げにならないよう配慮させていただきたいと思っております。話したり情報共有したりする場については、訪問先施設の状況によってばらつきがあると実感しています。それぞれの訪問先施設の状況やお考えを気軽にお伝えしてもらえそうな関係づくりを心掛けてまいります。</p>	